

平成27年8月度 定例自然観察会報告書

六甲山自然案内人の会 1班

実施日：平成27年8月8日（土） 9:30～14:10

テーマ：山田川支流沿いの道と風通る林道の夏を歩く

担当班：1班

参加者：ビジター35名 会員20名 合計55名

天候：晴 気温36℃/33℃

コース：神鉄谷上駅～県道73号(谷山川沿い)～鰻ノ手池手前分岐点～丹生山系縦走路
～(花山)分岐点～神鉄花山駅

配布資料：コースマップ

説明担当：ビジター担当 1班(上原健・石田淑) 2班(井上信・青木) 3班(木下・植田)
4班(大橋・上原友)

会員担当 福本、松本

概要

○集合[9:30 神鉄谷上駅前]

連日の猛暑が続く8月の観察会、天候は晴れ、予報では、猛暑日。少しビジターの皆さんの出足が遅いように感じられ、心配しましたが、結果的には予想を上回る参加者となりました。

<注意事項の徹底>

定刻、ビジター35名を4つに班分け、参加者全員に太田会員からコースの概要説明。特に注意事項として、

・県道は、先のゴルフ場への車などの通行があり、観察は基本的には左側で行う。車通行時には、会員が笛を吹くなど、注意喚起をするので、道に絶対、広がらないこと。

・熱中症対策として、給水休憩を適宜とるが各自も随時に水分補給を行い、体調不良などを感じたら必ず会員に声をかけていただくよう、徹底した。

<地域の概要説明>

石田淑会員から山田川やその支流・丹生山地のあらまし、“丹”は硫化水銀を含む鉱物丹砂を指すことなどを説明した。

○出発[9:45]

井上信会員による簡単なストレッチ体操のあと、ビジター班から出発し、そのしんがりには、スイーパーの中田会員を配置。駅前から山田川(谷上橋)を渡り、有馬街道(県道15号)を横断し、住宅地を通り過ぎた谷山川沿いから観察をスタート。それまでの直射日光に比べ、両側から樹木が覆い、木漏れ日の道での観察となりました。



○谷山川沿い [9:55~12:00]

(観察植物)

アオツツラフジ アリマウマノスズクサ イタビカズラ イボタノキ エゴノキ エビヅル オオコマユミ オトコエシ
オニグルミ オニドコロ ガンクビソウ キガンピ キクバヤマボクチ キツリフネ キブシ キンミズヒキ クサギ ケケ
ンポナシ コウヤボウキ コガクウツギ コクサギ コマユミ シラキ シラヤマギク ゼンマイ ニガキ ネムノキ ノ
ギラン ノグルミ ハナイカダ ハネミイヌエンジュ ヒメキンミズヒキ ヒヨドリバナ フジキ ヘクソカズラ ホソバタバ
ボタンヅル マユミ ミズギボウシ ミズヒキ ムラサキシキブ ヤブタバコ ヤブマオ ヤブムラサキ ヨシノアザミ



クサギ

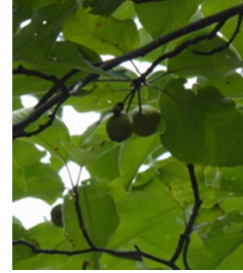


ミズギボウシ

○丹生山系縦走路[12:00～12:15、12:45～13:30] (昼食12:15～12:45)

(観察植物)

アカメガシワ イソノキ オオウラジロノキ ガンクビソウ ガンピ コツクバネウツギ サジガンクビソウ タカノツメ
タンナサワフタギ ネコハギ ノギリヤナ ヒヨドリバナ ヤマハギ



オオウラジロノキ

○花山分岐点から下山～神鉄花山駅手前の広場で解散[13:30～14:10]

全員が一列になって下山。途中一か所、堰堤の通行の際、足場の確保などにサポート役を貼り付け安全の確保に留意した。結果、無事に全員全コースを終え、そのことの報告と猛暑の中の参加に謝意を表す挨拶を行い、皆さんの拍手で観察会を終了できました。

□良かった点

- ・植生豊かで多様な植物を楽しめ、水音や風を感じる夏にふさわしい木陰中心のコースを選定できたこと。
- ・リピータの方も見受けられ、一方的に説明するのではなく、皆さんから答えを引き出す工夫をした。その結果、積極的に質問も出るようになったこと。
- ・写真や下見の時に採取した果実などを用意し、理解しやすいよう工夫したこと。
- ・交通対策や熱中症対策について、事前に注意事項の徹底を図るとともに、観察会中は、担当会員は、細心の注意を払い、参加者も同調していただいたこと。

□反省点

夏の観察会では、冒頭の地域説明は手短に行い、気温の低い、早い時間からスタートし、午後にその時間を取った方がよいとの意見がありました。なお、手元の温度計では、おおよそ、日向で36℃、日陰で33℃でした。 報告者：植田